



青森県教組養護教員部2022.8月.

折々のことば 鷲田 清一 2114

折々のことば 鷲田 清一 2114
等しく分担したら、見えない行為や配慮に感謝しないかもしれないよ。
コロナ禍で在宅勤務になった知人は、娘が休校になったこともあり、家事負担が急増した。そのことを娘に愚痴りつつ、家事を当番制にしようと思案すると、娘にこう言い返された。フェアだけど業務みたいになって、黙ってやってくれている人の苦勞への想像も養んでしまうと。いっちょまゑの言い草に知人はうろたえた。同じことを夫に言われたら、きつと腹が立つとも。

中学3年女子(14)

2021.8.13

全職場の養護教諭の皆さまへ

組合加入のおすすめ



私たち養護教員部は、子どもたちの心とからだの健やかな成長発達が守られる、学びのある学校づくりをめざしています。

私たち保健室・養護教諭は、子どものいのちと健康、安全を守る様々な役割を担っており、適切な判断・対応が求められる存在です。

そうした保健室・養護教諭であるために、日頃より社会情勢とのつながりなど広い視点を持ちながら、自らの力量を高めていくこと、そして自身を労わり、喜びや楽しみを感じながら、心身ともに余裕をもって働くことが重要と考えます。私たちの働き方は、子どもたちの健康認識を育てることにもつながるからです。

しかし、子どもの健康問題の多様化・複雑化に伴い、担う役割も多様化・複雑化し、余裕をもって対応にあたるのが難しいと感じる場面も多くなってきました。今は新型コロナウイルス感染症への対応にも苦慮し、緊張感と多忙感はいよほ増しているといえます。また、私たち養護教諭の多くは一人職種であり、専門職であるがゆえの悩みや疑問を職場で分かち合えないこともあります。学校の統廃合が進められ、正規の養護教諭の採用数を抑えたため待機講師の減少や免許外

養護助教諭の配置もみられるようになってきました。このような中、若い養護教諭はもちろん、正規採用ではない養護助教諭へのサポート体制の充実や、講師の心配をせず妊娠や病気で長期休暇をとることができる環境づくりは、ますます必要になってきているといえます。

こうした現状を踏まえ、安心して意欲をもって働き続けるために、お互いの小さなつづみやきや思いを拾い、伝え合い、つながり合うことがいよいよ大事になってきています。学習や交流などでの出逢いを通して、うれしい時や楽しい時、困った時や悩んだ時に気持ちや行動を共

後藤正文の朝からロック 彼を止められた可能性 有できる仲間、一緒のまねざしで子どもを大切にできる仲間をふやしていきましょう。

選挙中の銃撃事件以来、上手く言葉にできない複雑な重たさが心身を覆って、晴れないままでいる。
容疑者が行った暴力は、誰も言うように許されるものではないが、報道で知らされる彼の境遇は厳しく、自分の胸の内に湧き上がった憤りや悲しみや恐怖を、単純な何かにつけることができないでいる。
宗教団体による社会通念に反する行為は、被害者の救済に取り組み弁護士たちの活動をすれば、最近に立ち上がった問題でないことがわかる。これは社会問題と呼ぶべきもので、政治の側でできることはなかったのかと問われて然るべきだと思う。
私たち市民の側はどうだろうか。容疑者の怨恨は個人的なものであり、それぞれの生活から切り離れた場所ので起きた出来ごとだと考えるのは容易い。しかし、そうした考え方が、究極的には、それぞれの困難を自助や自業自得というかたちで、家族や個人へと問題を閉じ込めてしまっているのではないか。私たちは複雑に関わり合っている。その関係の一つひとつのどこかで、彼を止められた可能性が、私たちの側にもあったはずだと考えたい。
民主主義とは本来、為政者の政策を選択することでなく、私たち市民の願いが政治をつくることだ。誰もが孤独のままこぼれ落ちることのない社会を私たちが望み、そうした政策が行われる未来を強く願う。(ミュージシャン)

2022 アンケート・署名 のお願い

昨年実施できなかった仕事等に関するアンケートを実施します。11月に県教委と交渉をしますので、皆さんからの声を届けたいと思います。ご協力をお願いします。

◇氏名・校名を書いて下さった方には、後日「まとめ」を郵送します。

×切 8月31日(水)返信用封筒で。

◇署名は、回覧できそうな所は回してください。無理だなあと思ったら仲良しの先生に声をかけてみましょう。それも無理でしたら自分一人分でもOKです。「教は力なり」。子どもを取り巻く環境を少しでも良いものにしていきます。

朝日新聞 2022年 7月20日
日々の仕事に追われていると、アンケートなんて書いてる暇もない...と思ったりします。自分のやっていることを「見つけた!」「視点を変えた!」「見直した!」ということもないまま毎日が過ぎていきます。「忙しくて」「心をこらしている」状態です。今回は養護教諭の仕事についてじっくり考える機会にしましょう。そして自分の言葉を書いてみましょう。たくさんの方の声をお聞きしたいです。
文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)

「キツ／＼」より

かくみろの 小言・大言

その 685



●チェックリスト

No.	項目	No.	項目
16	迷った時は、勇気があるほうを選ぶ。	07	忙しい時は、「やらなきゃいけないこと」をすべて書き出す。
15	口癖を変えてみる。	08	ダジャレ、なぞなぞを考える。
14	食べたものを、書きとめておく。	09	メモ帳を持ち歩く。
13	急いでいる時こそ、字をていねいに書く。	10	テレビのスイッチを切る。
12	自分の気持ちを書き出す。	11	人と比べない。
11	ひとりにきりになって、心をよく落ち着けてから書き出す。	12	身長を比べない。
10	仕事の間、ちや／＼と書き出せる。	13	髪のを比べない。
09	伝言メモの字もていねいに書く。	14	年齢を比べない。
08	その季節の初物を食べた時に、書きとめる。	15	毎晩書いて、材料まで解析。
07	人の言ったマイナスコトバを「なんちゃって」と、波風たてずに打ち消せる。	16	プラスのコトバ以外、口から出ない。
06	どちらにしようか迷っている企画が2つあったら、両方捨てて最初から考える。	17	ゲームの緊張感をさらに出すために、リセットする。

●頭の中から、変えてみる!

No.	項目	No.	項目
06	今日出したものは、今日中にしまう。	1級 (茶帯)	一カ月を通して70%やっている。
15分	キレイに片付くまで、15分。	初段 (黒帯)	一カ月を通して90%やっている。
15分	キレイに片付くまで、5分。	師範 (紅白帯)	翌月することもやっている。
15分	キレイに片付いている。		

1級 トライしてえらい
初段 おめしもたかかやぶな
師範 あはれ